

がん子どもたちにも伝える

がんについての理解を子どもたちに深めてもらうと、専門医らの書籍103冊を紹介する展示が5月30日、松山市堀之内の県立図書館で始まった。7月30日まで、展示書籍の貸し出しにも応じている。

展示コーナーには、専門医がイラストを使って解説する「よくわかるがんの話」(全3巻)や、写真絵本「さよならエルマおばあさん」などが並ぶ。国は2016年の改正がん対策基本法や翌年の

読もう!



ワイドえひめ

県立図書館にコーナー 専門医らの103冊展示



県立図書館で始まった、子どもたちにもがんを伝える書籍の展示

改正学習指導要領に、がん教育推進を盛り込んでいる。学校現場でのがん教育本格化も見込まれる中、さまざまな情報を子どもたちに届けようと初めて企画した。同館の橋可奈子相談グループ担当係長(55)は「がんは2人に1人が

かかるといわれる。この病について考えるきっかけにしてほしい」と説明している。県立図書館は16年作成の書籍リスト「子どもにがんを伝える本」を今年5月に改訂。第2版として出しており、ホームページでも公開している。(大津貴圭)